



2018年度 グローバルクラス 途中編入 募集要項

シンガポール日本人学校 中学部

1 募集・入級審査について

1 募集生徒

- (1) 2018年度 中学1～3年編入学生 ※各学年の定員の空き具合をお問い合わせください。

2 出願資格

- (1) シンガポール日本人学校への編入学を認められる者。(詳細は、ホームページで確認してください。)
(2) グローバルクラスの個別説明会に参加して、目指す生徒像に共感し、入級意志が堅い者。
(3) 下記に示す英語力を有する者。

中学1年編入学生	中学2,3年編入学生
実用英語技能検定 準2級相当以上	実用英語技能検定 2級相当以上

※その他の英語資格については、個別にお問い合わせください。

3 入級審査の内容と合格及び入級者の決定

- (1) 上記「2 出願資格」を満たした志願者に、入級審査を行います。
(2) 入級審査の日程は、申し込み後に調整して、ご連絡いたします。
(3) 入級審査では、出願書類、学科試験、課題作文、面接試験の結果などを総合的に判断します。

- | | | |
|-----------------|---|----------------|
| 1. 筆記試験(数学)…30分 | } | ※日本語で実施します。 |
| 2. 筆記試験(理科)…30分 | | |
| 3. 課題作文…30分 | | |
| 4. 面接試験…20分 | — | ※日本語と英語で実施します。 |

※合計2時間程度です。(適時休憩を入れます。)

4 入級審査受験上の注意

- (1) 集合時間に遅刻、欠席する場合は必ず電話で連絡をしてください。(+65-6779-7355)
(2) 三角定規・コンパス・下敷き・計算機(※計算機能がついた時計)などは、試験中使用できません。
(3) 携帯電話は、試験会場に入る前に電源をお切りください。
(4) 保護者の方は、学内に保護者用の待機所を設けておりますので、試験終了までお待ちいただけます。ただし、試験開始から終了まで、志願者と会うことはできません。
(5) 受験時に必ず机の上に置くものは、鉛筆またはシャープペンシル、消しゴムのみです。机の上に置いてもよいものは、ハンカチ、ティッシュ、時計です。鉛筆のキャップや消しゴムのケース、シャープペンシルの芯ケースなどはカバンにしまっておいてください。
(6) 当日は、本校に駐車場はありませんので、お車でのご来校はお控えください。

5 合格発表

- (1) 志願者の指定された住所に可否通知書を郵送します。海外の場合は、別途相談させていただきます。
- (2) 1週間経過しても、通知書が来ない場合に限り、お電話で中学部にお問い合わせください。
※その他、電話や Email での可否のお問い合わせには応じられません。

2 出願手続きについて

1 編入申し込み

- (1) ホームページ上で行ってください。
- (2) グローバルクラスを希望される場合は、編入学オンライン申し込みフォームにて、「中学部グローバルクラス」を選択してください。

2 グローバルクラス出願に関する書類

- (1) 以下の3点を入級審査の日にお持ちください。
 1. 直前1年間の成績表(出欠状況を含む)のコピー
 - ①学校名、本人氏名が分かる部分の成績表のコピーを添付してください。
 - ②外国語で記載されている場合は、簡単な日本語訳をつけてください。
 - ③学期制が違う場合は、直前に発行された成績表までを提出してください。
 2. 英語資格の証明書のコピー
 - ①中学1年編入生 : 実用英語技能検定 準2級相当以上
 - ②中学2,3年編入生 : 実用英語技能検定 2級相当以上
 3. 受験料 S \$ 107 (シンガポールドル・GST 込)
 - ①小切手「宛先: The Japanese School」、もしくは現金でお持ちください。

3 入級手続きについて

1 グローバルクラスの授業料

- (1) グローバルクラスでの授業料は、メインストリームクラスの月額授業料に、S \$ 299.60 (GST 含む) を追加いただきます。

2 入級手続きについて

- (1) 入級確定者の方に事務室から「お支払ご案内等必要書類」を郵送いたします。
- (2) 書類を受領後、必要書類と小切手(または現金)を事務室へ持参し、支払手続きをしてください。

グローバルクラスによくいただく質問への回答

クラスの内容について

- 数学と理科を、日本語で学習するメインストリームクラスと比較して、日本語での理解が遅れはしないか気になっています。
 - 日本語で授業をしているメインストリームクラスと、指導する内容は同じです。また、日本語での学習については、週に1回の日本語での演習授業に加えて、予習や課題などの家庭での学習およびオンライン教材を並行して進めてもらいます。授業中は、日本人教員が常に学習のサポートをし、理解が深まるようにします。もちろん、前提として生徒自身に明確な自覚と努力をする気持ちをもって入級していただきます。

- イマージョン数学と理科で使用するテキストや指導方法はどのようになりますか。
 - 数学は啓林館の英訳版教科書を主に使用します。理科は、本校独自に作成した日本語の教科書に沿った英語の参考書を使用します。指導方法は、他のクラスと大きく変わりませんが、より自ら学ぶ姿勢を身に付ける指導を行っています。

- メインストリームクラスと同じ男女比率ですか。
 - 男女別の合格枠を設けることは考えておりません。男女比率については、志願者によります。

- 7時間目授業があった時の下校バスはどうなりますか。
 - 国際教養ゼミを実施する金曜日の放課後については、自力下校をしていただくこととなります。さらに、校外での活動も取り入れますので、その都度案内をいたしますが、自力下校へのご理解とご協力をお願いいたします。

- 病欠などで授業を欠席した際は、授業のフォローなどはありますか。
 - グローバルクラスに関わらずメインストリームクラスにおいても、基本的には、自分で教員に聞きに行き、解決することが前提です。グローバルクラスのイマージョン数学と理科は、チームティーチングなので、日本語、英語、どちらの教員にでも聞くことが可能です。

- グローバルクラスを卒業後の進学先はどうなりますか。
 - 現在、本校からの進学先は、約 60%が日本の高校、約 35%が早稲田渋谷シンガポール校です。これについては、グローバルクラスでも大きく変わりはないと思います。日本でも IB（インターナショナルバカロレア）認定校などで、英語で他の教科の授業を行う高校がありますので、そのような学校で、英語での学びを続けたいと考える生徒は少しずつ増えてくると考えています。また、英語での学習に自信をつけて挑戦したいと考える生徒は、シンガポールまたは海外のインターナショナル校などへの進学を考えるとと思います。

出願について

- 出願に必要な成績表のコピーがありません。出欠が記載されていません。
 - 出願時に個別でお問い合わせいただき、出願書類に補足資料を添付していただきます。

- 万が一、不合格になった場合に、グローバルクラスへの編入試験を再受験することはできますか。
 - 前回の出願日より、半年以上経過したのち、出願をしてください。

入級審査について

- 算数（数学）、理科の成績と英語力どちらを重視されていますか。
 - どちらを重視するという考えはありません。入級審査では、出願書類、学科試験、面接試験の結果などを総合的に判断します。

- 数学、理科の出題範囲は決まっていますか。
 - 編入する学年の学習内容に準じた内容になります。

- 算数（数学）、理科の筆記試験の合格レベルはどの程度ですか。
 - 各教科で教科書の内容を中心としつつ、そこから少し難易度をあげた問題も一部出題します。
 - それぞれの試験に対して、基準となる合格点を設定していますので、合格点に達すれば合格となります。